

# 秋植え球根

## 1. 植え付けのポイント

### ■球根の消毒

ビニール袋に球根と、球根重量の0.1%~0.2%の「ベンレート水和剤」をいれ、球根に衣をまぶすように、まんべんなく付けます。溶剤が取れないよう植え付けの直前に行います。

### ■鉢、プランターへの植えつけ

水はけ、通気性のよい土に緩効性の元肥「マグアンプK(中粒)」や「球根の肥料」を混ぜ込んで植えつけします。

新しく土を入れる場合は、「球根培養土」を植えつけるとカンタンです。植えつけ方法は、球根の下に根が張るスペースを取り、球根の頭が少し出る程度に浅く植えつけます。但し、ユリは深植えします。

### ■花壇への植えつけ

日当たりと水はけのよい場所を選びましょう。土を深く掘り起こ(30~40cm)、石灰類、有機物(腐葉土など)を混ぜて2~3週間置いた後、元肥「マグアンプ(中粒)または「球根の肥料」を混ぜ込んで土づくりをします。

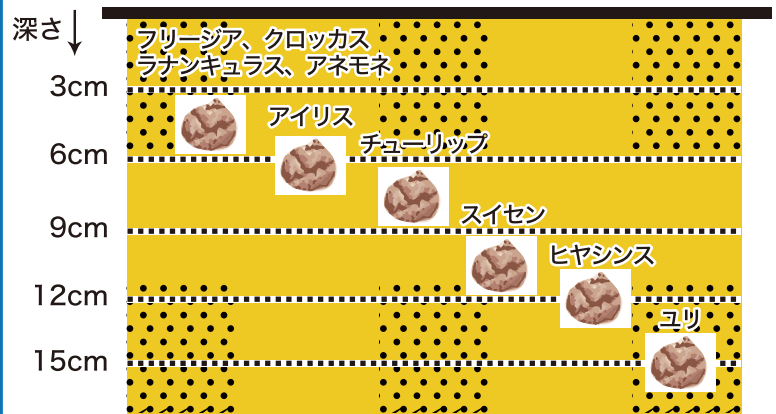
植えつけは、球根の高さの1~2倍程度の深さに。(但し、ユリは3~4倍に)また、毎年植えつけている花壇には、土の力が弱くなりますから、「古い土・再生します」を混ぜ込んで、土にパワーを復活させましょう。さらに花壇の大量の球根が植えつける時、便利な「球根植え付け器」があれば、作業が楽です。

## 2. 肥料

追肥は芽が出てきたら、液肥「ハイポネックスNEWレイシオ原液」または「薄めて使う液体肥料」を、月2~3回、株元に与えます。または「球根の肥料」を月1回株元に与えても良いでしょう。

## 3. 置き場所

球根類は冬の低温に一定期間さらされないと春に開花しません。あまり早く室内に取り込まずに日当たり、通気性のよい屋外で育てましょう。



## 4. 水やり

土の表面が乾いてきたら、たっぷりと水を与えます。

## 5. 病原虫

アブラムシには「オルトラン粒剤」を散布します。病気予防には「オーソサイド水和剤80」を定期的に散布しておきましょう。

## 6. 育て方のコツ

### ■花後の管理と球根の掘り上げ

翌年も花を楽しむためには花後に「お礼肥」を与えて、球根を太らせてあげましょう。花が終わったら葉を残して花首から切り落とし、カリ成分の多い液肥「微粉ハイポネックス」を1週間に1回の間隔で4~5回与えます。」

花壇栽培のお礼肥には、追肥「球根の肥料」を株元に1度ばらまきだけで十分です。葉が黄化したのを目安に掘り上げ、通気性の良い涼しい日陰で貯蔵します。

但し、ユリの球根は乾燥を嫌うため、秋までそのままにし、植え替える直前に掘り起こします。

### Howto.なで

動画でもっとわかりやすく!  
暮らしに関するHowto情報を動画で配信中。



### How To 情報

コメリドットコム「HowTo情報」には、DIY情報、住まいや暮らしに役立つノウハウが満載です。

